



やりみず

八王子市立鑓水小学校

令和8年5月29日

第354号

教育目標：「本気で考える子」「勇気をもって行動する子」「元気で心豊かな子」

URL <http://hachioji-school.ed.jp/yrmze/>



子どもの安全について

校長 高田 浩

新年度がはじまり、2か月が過ぎようとしています。保護者の皆様、地域の皆様には、この間、日々の生活の場面、保護者会、学校公開(やりみずダッシュを含む)など、様々な場面でご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、昨年度末の保護者会でもお話しさせていただいた「子どもの安全」について、お知らせしたいこと、一緒に考えていきたいことがありますのでお伝えします。

まずは、今年度より始めた取組についてです。1つ目は、本校の学区域の広さを考え、登校時間を10分間にコンパクト化したことです。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、10分間に校門を通る子どもが多く、通学路を一人で歩く場面は格段に減少し、不審者対応として機能していると感じています。2つ目は、1年生対象にした「ピーポくんの家 体験学習」の実施です。有事の際に子どもが駆け込むことができる場所に、助けを求める訓練を、実際に防犯ブザーを鳴らしながら実施することができました。学校だけではできない規模の訓練となりました。ご協力をいただいた皆様には感謝でいっぱいです。

また、不審者に対する取組は青少対でも実施してくださっています。地域パトロールや「わんわんパトロール」などです。「わんわんパトロール」は、東京都防犯ネットワークが運営し、青少年対策鑓水地区委員会が登録し、活動を広めてくださっている犬の散歩の際に指定のバッグとバッジをつけて地域をまわることで、犯罪抑止と安全安心につながる活動です。不審者による被害が一番多い時間帯は子どもが下校した後の夕方の時間ですので、大変ありがたい活動となっています。

そのほかにも、地震や災害に備えた避難訓練や関係諸機関と連携したセーフティ教室などに加え、台風や落雷が近づいている際の安全指導等、自分の命を自分で守る力を身に付けさせる指導を適時行っております。SNS等の被害にあわないように、情報モラル等についても指導を行っていますが、例えばLINEのホームページでは、利用推奨年齢を12歳以上に引き上げるなど、子どもが巻き込まれるトラブルが増加しているのが現状です。推奨年齢が12歳以上に引き上げられたということは、小学生の使用に関しては、これまで以上に保護者の責任が重いということだととらえています。使い方や使用状況の把握、トラブルの発生時の対応等、各ご家庭の責任においてお願いをいたします。

子ども達の安全教育は、危険な話をして子どもを怖がらせることで終わりにするのではなく、子ども自身に考えさせ、「自分の命を自分の力で守る」本物の力を身に付けさせることにあります。また、子どもの目の前の障害を全て、周りの大人が取り除いてしまっても、自分の命を自分で守る力は身に付きません。周りの大人が共通理解と共通実践の意識を高める必要があります。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。